

彼らはどこへ向かい、

なにを生み出したのか。

青春の苦悩と孤独を歓喜にかえた画家たち



《岩内郊外の安達牧場へ向かう有島武郎(左)と木田金次郎(右)》1922年

木田金次郎展

In Commemoration of the Centennial of the Publication of *The Agony of Coming into the World* by ARISHIMA Takeo
Artists Who Turned Their Youthful Agonies and Solitude into Joy: KIDA Kinjiro and Others

有島武郎『生れ出づる悩み』出版100年記念

府中市美術館

Fuchu Art Museum

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

ハローダイヤル：03-5777-8600

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3

都立府中の森公園内

2018年7/21(土)▶9/2(日)

休館日 月曜日 開館時間 午前10時から午後5時(展示室入場は午後4時30分まで)

観覧料 一般700円(560円)、高校・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円)

※()内は20名以上の団体料金。※未就学児および障害者手帳等をお持ちの方は無料。※府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」提示で無料。

※「木田金次郎展」観覧料金で常設展もご覧いただけます。

主催：府中市美術館、有島武郎・木田金次郎プロジェクト実行委員会(ニセコ町・有島記念館、岩内町・木田金次郎美術館)、
巡回企画展「出版100年記念 有島武郎『生れ出づる悩み』と画家・木田金次郎」実行委員会
協力：有島記念館友の会「土香る会」、平成の「生れ出づる悩み」実行委員会
助成：一般財団法人 地域創造

青春の苦悩と孤独を 歓喜にかえた画家たち 木田金次郎展

有島武郎『生れ出づる悩み』出版 100 年記念

有島武郎：生れ出づる悩み

近代日本を代表する文学者のひとり、有島武郎(1878~1923)の小説『生れ出づる悩み』は、1918年に発表され今年で出版100年を迎えます。そこには、小説家「私」と青年画家「木本」の出会いと交流、そして互いが抱える創作の苦しみが続けられています。

小説家と画家の巡り合い

この小説のモデルとなったのが、北海道の画家・木田金次郎(1893~1962)です。有島と木田は、1910年に札幌で出会い交流を重ねました。そして、有島は木田の姿に触発されて一編の小説をまとめ、一方、木田は有島から薫陶を受けながら絵画の道を進んでいきます。

木田金次郎：北海道・岩内で描く

木田は有島から、生まれ故郷であり地方の漁村である北海道・岩内で活動することを強く勧められました。1954年には、それまで描いた1500点あまりの作品を大火で失いますが、これ以降も同地で制作を続けます。にぎわう漁港や波しぶく岩場を、奔放な筆遣いと鮮烈な色彩でとらえた岩内の景色は、この地で過ごした木田だからこそ描きえたものでしょう。

人はなぜ描くのか？

この展覧会では、画家・木田金次郎の生涯を80点の作品によりとります。さらに、小説家・有島武郎、『生れ出づる悩み』に触発された北海道の若手美術家、福井で炭焼きをしながら描き続けた孤高の画家・渡邊淳らの作品をあわせて紹介します。苦悩と歓喜に彩られた、芸術家たちの創造の軌跡をご覧ください。

彼らはどこへ向かい、
なにを生み出したのか。



有島 武郎

札幌
岩内



木田 金次郎



②



③



④



⑤



⑥

- ①有島武郎《やちだもの本立》1914年(北海道大学大学院農学研究科蔵・北海道立近代美術館寄託)
- ②木田金次郎《ホブラ》1924年(木田金次郎美術館蔵)
- ③木田金次郎《夏の岩内港》1960年(木田金次郎美術館蔵)
- ④木田金次郎《大火直後の岩内港》1954年(木田金次郎美術館蔵)
- ⑤木田金次郎《菜の花畑》1956年(北海道銀行蔵)
- ⑥木田金次郎《秋のモイワ》1961年(北海道立近代美術館蔵)

関連事業

■ギャラリートーク

伊藤大介氏(有島記念館 主任学芸員)、
岡部 卓氏(木田金次郎美術館 学芸員)
7月21日(土) 午前11時~(約40分)
8月5日(日) 午後2時~(約40分)
2階 企画展示室(展覧会観覧券が必要になります)

■20分スライドレクチャー

7月29日(日)、8月12日(日)、8月26日(日)、
9月1日(土)
午後2時~(約20分)
1階 講座室(無料)

■中学生のための ヴァイオリン・コンサート

川島成道氏(ヴァイオリン)
8月4日(土) 午後3時~(約40分)
2階 企画展ロビー
(展覧会観覧券が必要になります)

■展覧会講座

「それぞれの『生れ出づる悩み』
有島武郎と木田金次郎」
鎌田 享(当館学芸員)
8月18日(土) 午後2時~(約90分)
1階 講座室(無料)

同時開催

[常設展] 江戸時代から現代まで
[牛島憲之記念館] 人工物のある風景
[公開制作] 富長敦也

次回の展覧会

9月3日(月)~3月15日(金) 施設改修のため休館
3月16日(土)~5月6日(月) へそまがり日本美術
禅画からヘタウマまで

詳しくは府中市美術館のホームページをご覧ください。

交通案内

- 京王線東府中駅北口から
 - ・徒歩17分
 - ・ちゅうバス府中駅行きで「府中市美術館」下車すぐ(8:05から30分間隔で運行、運賃100円)
- 京王線府中駅から
 - ・ちゅうバス多磨町行きで「府中市美術館」下車すぐ(8:00から30分間隔で運行、運賃100円)
 - ・京王バス武蔵小金井駅南口行き(一本本経由)で「天神町二丁目」下車すぐ
- JR中央線武蔵小金井駅南口から
 - ・京王バス府中駅行き(一本本経由)で「一本木」下車すぐ
- お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、60台収容)をご利用ください。

